

- 東京都では、都民の医療に関する理解促進のため、「知って安心 暮らしの中の医療情報ナビ」を作成
- 「大人編」「子供の発熱編」「高齢者の骨折編（マンガ）」の3種類のテキストにより各シーンで関連する医療情報をわかりやすく解説するとともに、普及啓発用リーフレットを作成
- テキストは区市町村や保健所、地区医師会、医療機関等に配布するほか、保健医療局のHPに掲載
- 電子カルテを始めとした**医療DXのメリット**など都民のさらなる理解促進のため、医療情報ナビに「**医療DX編**」を追加する。

現 状



作成方針（案）

- ☞ 都民にわかりやすく、医療DXに親しみを持ってもらうため、**マンガ版で作成**する。
- ☞ **医療DXのメリットがわかりやすいストーリー構成**
- ☞ 用語集、参考資料は巻末にまとめて添付
- ☞ スマートフォン版ではマンガをスライドで閲覧できるようにするなど、都民がより親しみやすい形で今後の普及啓発に積極的に活用

検討体制及び作成スケジュール

- ☞ 本委員会のほか、東京都医療DX推進協議会委員の御意見を踏まえて令和8年度中に作成予定

全体構成、マンガで取り上げる具体的な生活シーン、ストーリー展開はどのようなものが良いか御意見をいただきたい。

構成(案)

① はじめに（医療DXの目的・意義）

医療DXで、 よりよい医療と暮らしを。

2ページ程度

医療DXとは、デジタル技術を活用して、医療をより効率的・効果的にし、みなさんの生活の質の向上につなげる取り組みです。



便利に



安心に



つながる



② 医療DXチェックリスト 2ページ程度

あなたの生活に医療DXが関わるか チェックしてみましょう

- ☐ 医療機関に行くのが負担に感じることがある
- ☐ 待ち時間が長くて困ったことがある
- ☐ 何度も同じ資料説明をするのが負担に感じることがある
- ☐ 検査結果や処方箋など紙の書類の管理が面倒だ
- ☐ 家族と通院や薬のことを共有できると安心だ
- ☐ 触れてほう者家族の健康状態が気になる

いくつ当てはまりましたか？

チェック結果に応じて、あなたに合った活用方法を見つけてみましょう。



③ 生活の中での活用例（マンガ形式）

以下の3例で各6ページのマンガを作ります。

ストーリー例（1）オンライン診療

① 導入・困りごと	② 医療DXとの出会い。	③ 実際に利用	④ 生活の変化
定期的に通院が必要だけど、移動や待ち時間が負担だな…	オンライン診療ができますよ！ やり方がわからないけど自分にもできるのか…また外に出てもらえるのかな…	自宅のスマホやタブレットで診療を受けます。	対面診療とオンライン診療を適切に組み合わせ、通院の負担が軽減され、心身ともに楽になりました。

ストーリー例（2）Web予約システム

① 導入・困りごと	② 医療DXとの出会い。	③ 実際に利用	④ 生活の変化
子どもが発熱…！クリニックに電話してもなかなかつながらない…	ちゃんと予約できるのかな…？順番は正確に…わかるの？ Webで予約の確認ができるんだ！	スマホで予約完了！順番や診療状況をリアルタイムで確認できる！ 〇〇クリニック 診療状況 あなたの順番 5番目 来院の目安：(10:30頃)	待ち時間を短縮できて家で院内で長く待つ必要がなく便利！感染の心配も軽減されました。

ストーリー例（3）医療情報の共有

① 導入・困りごと	② 医療DXとの出会い。	③ 実際に利用	④ 生活の変化
受診する医療機関が変わるたびに、自分の病状を説明するのが苦手だな…家族にもお薬内容を知ってもらえると安心だな…	医療情報を共有できますよ！ 書類を取りに行く手間や、検査、投薬の重複も減らすことができますよ	紹介先の病院で、これまでの情報が共有されているので、説明がスムーズに！ 情報の伝え忘れがなくなって安心 共有された情報 ・診療情報 ・検査結果 ・お薬情報 など	患者・家族・医療機関で情報を共有し、質の高い安心な医療につながりました。

構成(案)

4 Q & A (質問例)



Q : 医療DXで私の生活がどう変わるの？

A : 受診や予防が便利になり、必要な医療情報を活用しやすくなることで、より質の高い医療につながります。



Q : マイナ保険証を使うと何ができるの？

A : 保険資格の確認がスムーズになるほか、本人の同意により薬剤情報や特定健診情報などを医療機関で確認できます。



Q : デジタルに不慣れな人でも、医療に関するデジタル機器を使える？

A : ご本人の状況に合わせて利用できます。
ご家族や医療機関のサポートを受けながら利用することもできます。



Q : スマホを持ってなくても使える？

A : すべてのサービスでスマートフォンが必要というわけではありません。
自分にあった方法で利用できます。



Q : 個人情報が漏れたりしない？

A : 法律やルールに基づいて適切に管理されます。
情報の利用や共有には安全対策が講じられています。



Q : 自分の情報が勝手に共有されるの？

A : 本人の同意なく共有されるものではありません。
情報やルールに基づいて適切に取り扱われます。

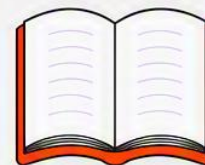
5 用語集・参考リンク集

制度や取組みに関する参考資料やそのリンク集を紹介します。

用語集

よく使われる用語を
わかりやすく解説します。

- 医療情報連携
- 電子カルテ
- オンライン診療
- マイナ保険証
- PHR
(Personal Health Record)
- その他様々な
デジタルツール



参考・リンク集

役立つWebサイトや
相談窓口をまとめました。



- ・ 医療DX東京ナビ（保健医療局）
<http://iryox.dxtokyo.nabi.~~~>
- ・ 医療DXについて（厚労省）
<http://iryox-dx.mhlw.go.jp/~~~>
- ・ マイナポータル（デジタル庁）
<http://myna-portal.digital.go.jp/~~~>
- ・ マイナナンバーカードの
健康保険証利用（マイナ保険証）について（厚労省）
<http://myna-hoken.mhlw.go.jp/~~~>
- ・ オンライン診療について（保健医療局）
<http://online-shinryo.metro.tokyo.lg.jp/~~~>

など

6 アンケート（デジタルブックのみ）

本冊子をご覧になった感想をお答えください。

